

## ITルームで手話のレベルアップを!

デジタルビデオカメラで映像を取り込み、自分の手話表現・日本語表現をチェックしませんか? テープレコーダーで、手話の読み取り練習もできます。

仕切りがあるので隣の様子が気にならず集中できます

デジタルビデオカメラでリアルタイムに映像を取り込みます



手の動きや位置をチェックしやすい21インチテレビモニター

自分の手話表現・日本語表現のチェックに!

テープレコーダーで手話の読み取り練習を!

| 利用時間        | 利用料金        |
|-------------|-------------|
| 9:00~12:00  | 9,775円(税込)  |
| 13:00~17:00 | 12,085円(税込) |
| 18:00~21:30 | 12,085円(税込) |
| 9:00~21:30  | 27,635円(税込) |

## New YEAR SPECIAL STAY



古都京都 嵯峨野で迎えるお正月

12月31日、元日、1月2日の3日間限定  
1泊2食 お一人様18,000円

お問い合わせ・お申込みは

社会福祉法人 **全国手話研修センター コミュニティ嵯峨野**

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4  
TEL 075-873-2646 FAX 075-873-2647

◎ホームページ: <http://www.com-sagano.com>

◎アクセス: JR嵯峨嵐山駅下車徒歩1分/京福電車嵯峨駅前下車徒歩3分

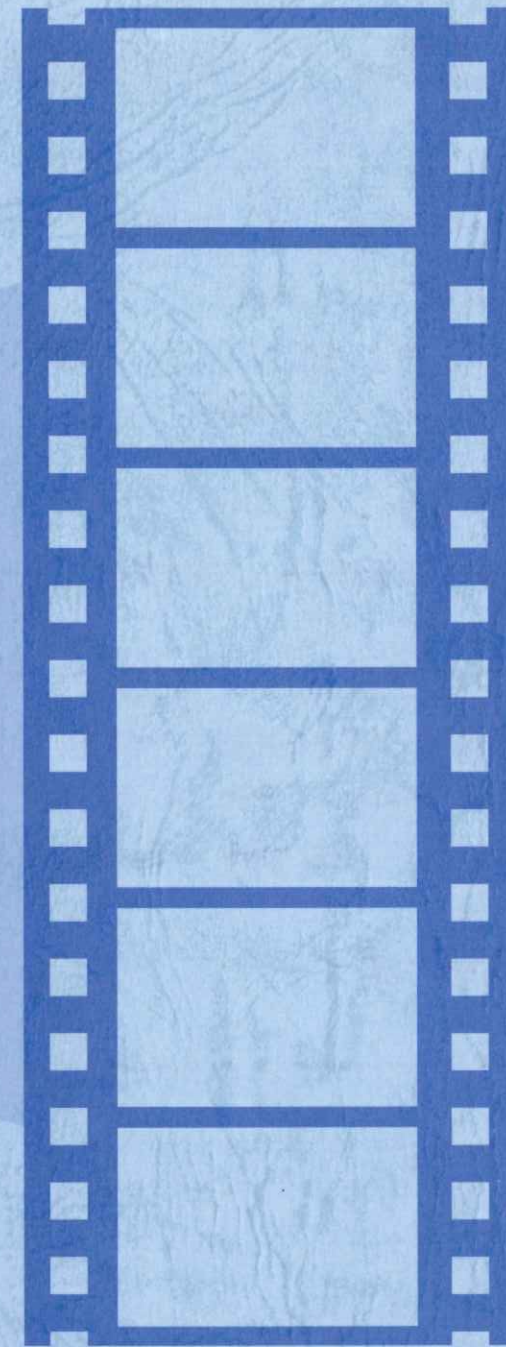
【主催】 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構

【共催】 財団法人 全日本ろうあ連盟  
社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

KEIRIN



この事業は、「競輪公益資金」の補助を受けて開催します。



日時 2004年11月6日(土)  
(受付12:00~ 開会13:00~)

11月7日(日)  
(受付9:30~ 開会10:00~)

会場 コミュニティ嵯峨野  
3階「嵐山」

聴覚障害者  
映像フェスティバル  
in さがの



# プログラム

11月6日 (土) 12:00 受付開始

13:00 開会式

13:30 上映プログラムA (80分)

1. 関一哉「KAZMATRIX」(5分)
2. チームぐわあむ「僕は、やさしい。」(15分)
3. 那須英彰「デフ・ロード」(60分)

14:50 スペシャル・トーク

(貞弘元道・神谷雅子、インタビュアー：那須英彰)

15:30 上映プログラムB (120分)

1. 山本義文「赤道国エクアドル紀行」(48分)
2. 今村彩子「ユニバーシティ・ライフ」(13分)
3. デフ・スピリッツ「21世紀の夢」(58分)

17:30 交流パーティ

## 審査員

- 井上 泰治 (映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか)  
貞弘 元道 (KBS京都放送経営企画本部局長職)  
津田 正夫 (立命館大学教授、元NHKチーフ・プロデューサー)  
神谷 雅子 (「京都シネマ」代表)  
黒崎 信幸 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構理事 / 財団法人全日本ろうあ連盟副理事長)  
比嘉 豪 (財団法人全日本ろうあ連盟理事・文化部長)  
山口 武彦 (社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事)  
浅井 ひとみ (社団法人京都府聴覚障害者協会会長)

11月7日 (日) 9:30 受付開始

10:00 レトロ映画「楽しき日曜日」

昭和36年、「睦聾啞映画演劇研究会」が制作したろう映画。ろう夫婦の愛情をテーマにした高峰秀子主演の映画「名もなく貧しく美しく」が公開されたことがきっかけとなり、「自分たちの手で、自分たちの夢や希望を表現したい」と、約1年がかりで制作した。4話のオムニバスからなり、日本のろう者による映像フィルムの記録として、貴重な作品である。

11:40 昼食

13:00 上映プログラムC (90分)

1. 熊谷市ろう者協会「熊さんだよりザ・ムービー」(23分)
2. 京都市聴覚言語障害センタービデオ担当「支えあってバリアフリーの社会へ」(6分)
3. 岐阜ろう劇団いぶき「岐阜ろう劇団いぶき“あしあと”」(18分)
4. 塩野谷富彦「南極大陸」(24分)
5. 明瀬直幸「エコロジー」(16分)
6. 大館信広「サイレントホラー『見えない侵入者』」(4分)

14:30 スペシャル・トーク

(井上泰治・津田正夫、インタビュアー：大館信広)

15:00 上映プログラムD (90分)

1. 神奈川聴覚障害者福祉センター「こんな時！！メール110番～vodafone編～」(16分)
2. 東京都立大塚ろう学校小学校手話クラブ「あきらめないで」(31分)
3. 本田耕造「天神祭」(20分)
4. 伊藤徹也「マル」(15分)
5. 呉竹一人「雪バカ日誌1」(10分)

16:30 講評・閉会式